

都会派SUVのスピリットを極めた
ダイナミック・フォルム

カスタムスタイル
最前線
The Current of Custom Style



欧州高級SUVが清ざめる風格 IMPUL X-TRAIL

■文：橋本洋平 ■写真：井上雅行

雪道やオフロード走行をも視野に入れた、今時珍しい本格派4WDのエクストレイル。ダイナミックにアウトドアフィールドを駆け抜けるテレビCMはすっかりお馴染みだろう。実際に走らせてみると、悪路走破性を極めるために車高を高めにセットしていることや、ストロークを豊かに、そしてソフトに仕立てた足まわり設定に気付く。

ニッサン車のチューニングブランドとしてお馴染みのインパルスは、その方向性をシティユースへ向けて駆けてきた。実際に走るフィールドの9割以上になるオフロード走行に適したモーディファイアイを行うことで、エクストレイルの新たな可能性を探っている。

今回登場するのはそのテストト

▲試乗車に装着されていた『IMPULイルミネーションエンブレム』は、スマートランプに連動して鮮やかなブルーに輝く。『IMPULフロントグリル』専用バーツで、価格は1万3440円

先進のクリーンディーゼルを中心に、本格的なオフロード性能と街乗りでの快適性を両立している日産エクストレイル。そのボクシーなスタイリングを、より上質に力強く変身させるエアロキットが、インパルからリリースされた。威風堂々としたフォルムは、欧州の高級SUVたちをも凌ぐ存在感だ。

カード。現在は正式発表となつたエアロやタイヤホイールといったデザイン面の改良を行う一方で、足まわり&コンピュータを市販化に向けてテストしている。

まず、目に飛び込んでくる安定感あるエクステリアは、フロント、サイド、リアのハーフスポイラーが装着されたことがポイント。サイドトリムに存在する純正の黒い樹脂バーツをわざと残し、その下にエアロバーツを装着することで、メリハリのあるルックスを実現している。シティユースを狙いながらも、いざとなれば悪路もOKだとアビールするかのよう仕上がりは、これまでのエクストレイルには存在しなかつた異彩を放つ。

この安定感あるルックスは、19インチのタイヤ＆ホイールや、約20mmのローダウンもボイントだろう。ドッシリと構えたその塊感は、少し腰高なノーマルのテイスストとは別モノである。

そんなインパル・エクストレイルに乗り込むと、すぐにローダウン化が効いていることがうかがえる。量的にはわずかなローダウンだが、乗り降りのし易さに繋がっていると感じられたのだ。ルックス重視かと思いつや、これは意外なメリットだ。走り出してみると、シティユースでの安定感は確実に高まっている。日常のアシとして使

IMPUL エアロダイナミクスシステム for T31 エクストレイル



IMPUL X-TRAIL



◀ノーマルよりもシャープなV字アレンジが、圧倒的に精悍でダイナミックな顔立ちを生み出すグリル。IMPULエンブレムEC-04を付属

▶フロントハーフスポイラーは、SUVらしい重厚感とシャープな走りの予感を、絶妙にバランスさせた個性的なデザイン



◀フロントスポイラーと相まって、車高を低く見せ安定感もアップするサイドステップ。黒い樹脂パーツとのコントラストが、引き締まった印象だ

▶リアハーフスポイラーは、「鎧」をまとっているかのような強さと上級感を醸し出す。ディフューザー形状のアレンジも斬新だ



■システムラインアップ（すべてFRP／未塗装・価格は税込）

フロントグリル（IMPULエンブレム EC-04付属）	4万950円
フロントハーフスポイラー	5万400円
サイドステップ	5万2500円
リアハーフスポイラー	5万400円
上記4点エアロキット特別価格	18万9000円

Xトレイル T31型のIMPULエアロダイナミクスシステムは、ライトなSUV感がテーマだ。重厚なフルバンパーは迫力が増す反面、ミニバンのようにスポーツ性が失われる可能性がある。あくまでSUVのスポーティさを演出するために、前後のスポイラーはハーフタイプを採用。ブラックの樹脂パーツを残し、サイド&リアの引き締め効果も狙った。

には、悪路重視の腰高なノーマルよりもしつくりくる。走りの安定感が高まっているのだ。口一日出さないようにとジワリと操ることが必要なノーマルと違い、肩の力を抜きながらラクに走ることができる。乗り心地もそれほど硬くなっていない

ところが、これまた嬉しい。

現在テスト中のスロットル&コンピュータチューニングは、踏み始めからのレスポンスが高まっている印象で、力強くリニアに加速を重ねてくれるところが好印象。こもり音もなく爽快なサウンドを提供してくれるマフラー

一を装着していることもあり、思わず少しハイペースで走りたくなる感覚に襲われる。いつもの道もこれなら運転が楽しくなる。こうして見た目から走りまで、全域オノロードマッチさせたインパル・エクストレイル。その意外性は、かなり新鮮かつ魅力的だ。

■IMPULプラスチックマフラー <10万2900円>



■TEAM IMPULレーシング
Aura SR-08<8.0J-19 (+42) / ブラック : 5万400
円/本 / ハイバーブラック : 6万3000円/本>

デモカー・チューニングメニュー

今回試乗したデモカーは、上のエアロダイナミクスシステムによるドレスアップに加えて、他のIMPULアイテムも装着していた。アルミホイールは、繊細な感性と力強さを兼ね備えたレーシングAura SR-08、エキゾーストにはプラスチックマフラーをチョイス。エンジンのパワー＆レスポンスUPを実現するIMPULエクストラパワーキット（パワースロットルバルブ+ハイパワー・コントロールユニット）、サス・スプリング（F/R30mmダウン試作）も開発中だ。